【代表的な研究テーマ】

□ 音声メディア利活用のための音声情報処理技術

□ 遠隔マイク収録や雑音環境下を想定した適応学習や自動字幕化支援技術

Keyword：自動音声認識、音声検索、自動字幕化、深層学習（AI）応用技術

研究の概要

音声情報処理の基礎技術の開発

・話し言葉の自動音声認識システム
・機械学習（深層学習、AI技術）による話し言葉や雑音環境向けの言語・環境適応学習技術

など

音声情報処理の応用システムの開発

・長時間録音データからの発言内容の検索システム（音声ドキュメント検索）
・多人数の発言や環境雑音を含む録音データからの話者自動区分化や自動字幕化支援のシステム

など

アピールポイント

・特筆すべき研究ポイント：

＊自動音声認識システムの基礎技術から音声検索・自動字幕化などの応用システムの開発までの範囲に関わる音声情報処理技術の開発実績
＊機械学習（深層学習、AI技術）を応用した実環境向けの音声情報処理技術の最適化に関する研究開発実績　～講演・講義音声、雑音・残響を含む遠隔収録音声、多人数会議音声などの対象事例～
＊基盤技術からマイクロフォンや収録環境を含む実環境への展開を含むソフトウェア開発の実績

・関連書籍等：

音声言語処理と自然言語処理（共著），コロナ社, 2013.

甲斐　充彦
学術院工学領域
数理システム工学系列
准教授

■ 相談に応じられる関連分野

・目的に併せた音声情報検索システムの開発
・低コストな自動字幕化、議事録作成支援（話者や音声区間の自動区分化を含む）システムの開発
・電話音声や現場音声などの実環境向けの音声情報処理の最適化

など音声情報処理分野に関わるもの